

まちの文化と日常の魅力を育てる まちびらきプロジェクト

盛岡まちごと博覧会

in 大慈寺町・鉤屋町界限

大慈寺

このまち、

日常がすでに博覧会

歩く・知る・関わる

“わたしのまち再入門”

青龍水

盛岡町家

(大慈寺地区コミュニティ消防センターと
もりおか町家物語館)

2026年
10月17日(土)
~11月16日(月)

詳細・最新情報は
特設ウェブページをご確認ください。
<https://www.machinamijuku.org/our-community-design>



「アクセス」公共交通のご利用をおすすめします。
・岩手県交通バス「南大通一丁目」または「南大通二丁目」下車 徒歩約5分
「盛岡バスセンター」下車 徒歩約10分

市内で唯一景観地区に指定される、大慈寺町・鉤屋町界限。
盛岡の歴史文化を今に伝える町家や寺、井戸などを舞台に、
特別公開や文化体験・交流体験を展開します。
人々の暮らしに息づく地域固有の建築から
盛岡の魅力を深く味わい、じっくりと、人や暮らしと交わる1か月。

—— 特別な体験が、いつかわたしの日常になる。——

【お問合せ】特定非営利活動法人盛岡まち並み塾 事務局

岩手県盛岡市鉤屋町3-15「大慈清水御休み処」内／営業時間: 10時~16時(水曜定休)
TEL・FAX: 019-656-1603 ホームページ: machinamijuku.org

【主催】特定非営利活動法人盛岡まち並み塾



※令和8年度盛岡市市民協働推進事業補助金活用事業 『建築を介した「地域の関わり」のデザイン』による、多主体協働のまちびらきプロジェクトの一環として実施いたします。

日常が博覧会になるまち、盛岡市大慈寺町・鉈屋町界隈ってどんなところ？

江戸・明治期に北上川舟運の起点、街道が交わる城下南の玄関口として栄えた大慈寺町・鉈屋町界隈。

盛岡市で唯一の「景観地区」に指定されたこのまちには、自然豊かな寺院群、盛岡町家や土蔵や共同井戸の懐かしい街並みが今も残り、丁寧に暮らしを紡ぐ温かな人々の営みが息づいています。懐かしくも新しい時間の流れに身をゆだね、ゆっくりと歩くほどに心が癒やされ、街並みと人々から元気がもらえる「盛岡らしさ」に満ちたエリアです。

【まちの紹介パンフレット】
各種ダウンロードできます。→



スマホで聴ける！音声ガイド (YouTube再生リスト)

事前にまちの雰囲気を試聴できます。

🔊 まちの史跡や名建築の解説

散策モデルルートのガイドにつながります。
※「ぐる〜っと上級編…」と表示されます。



🔊 まちの音風景

井戸のせせらぎや寺の鐘の音など。
まちの日常のサウンドスケープ。



凡例		● 現存町家	● 町家以外	🌳 景観重要樹木
いっぶく 飲食・異物	【大慈寺地区景観地区】	★ 商店等で町家	★ 町家以外	💧 清水(井戸) ※平成の名水百選
★ 手しごと 工房など	● 町家以外	● 町家以外	● 町家以外	🏯 県指定文化財
● 工房等で町家	● 町家以外	● 町家以外	● 町家以外	🏯 市指定有形文化財
● 町家以外	● 町家以外	● 町家以外	● 町家以外	🏯 市景観重要建造物
				🏯 市保護庭園
				🏯 市都市景観賞受賞

「盛岡まちごと博覧会 in 大慈寺町・鉤屋町界限」プログラム

じっくり体験できる「少人数・事前予約制」企画多数ご用意



プロジェクト拠点

明治期の町家「大慈清水御休み処」



【総合案内所・総合問合せ先】
盛岡まち並み塾 事務局
盛岡市鉤屋町3-15
電話 019-656-1603
営業時間：10:00～16:00（水曜定休）

歩く

まずは、ガイドマップを入手して
じっくり散策しましょう！

マップを片手にご自身のペースで
このまちの日常をお楽しみください。

- ①まち歩きガイドマップ各種パンフレット無料配布
- ②町家喫茶常時営業。散策の足休めに
- ③『大慈寺地区の
都市景観賞受賞建築パネル展示』
11/1～11/16 協力：盛岡市景観政策課



知る・関わる

地域の方や職人から教わるこのまちならではの
特別体験＆建物公開・解説から じっくりまちを知って、関わりましょう。

地域の生業・職人の所作に出会う体験

まちの風土に引き寄せられた
職人の精神と技に触れる



⑥



④



①

井戸があるまちの暮らし／井戸掃除体験

名水の恩恵に感謝しながら、日常の風景に溶け込む



②



①

町家暮らし体験・地域交流体験

住み合いの工夫が息づく
盛岡町家ならではの空間で、
人と交わり 共に時を過ごす



③

④創業明治4年の酒蔵「あさ開」⑥

まちびらきで乾杯！好きと出会う至高の一杯、あさ開酒蔵見学ツアー

日時：11/3（火・祝） 11:00 & 15:00

参加料：1,000円（グラス付試飲体験セット）

定員：各回15名 事前申込先：あさ開地酒物産館 電話019-624-7200（平日9:00～17:00）

⑤明治期の盛岡町家「町家サロンピッピ」＆「ピッピ手芸教室」①

ちりめん細工で手仕事と想いを未来につなぐ入門体験day

日時：10/20（火）・10/23（金） 両日10:00～16:00（最終受付14:00）

体験料：1個1,000円、3個セット3,000円

事前申込不要 ※作品は来年の旧暦の雛祭りで見展示できます

お問合せ：電話019-626-2280

○「巡る暮らしの道具-古着物と古食器展示販売」ミニコーナーも併設

⑥明治期の町家「八百倉町家」が新しい場所になる「川目石材」②

写真や風景を描写する「南部点刻」の職人技から、石の魅力に触れる工房オープンday

日時：11/3（火・祝） 10:00～16:00

お問合せ：メール asuka@kawamesekizai.com

⑦江戸時代から地域を支える生活水、共同井戸「青龍水」①

定例井戸掃除オープンday

日時：10/21（水）・11/4（水） 両日9:00 現地集合（所要時間60分）

※動きやすい服装と長靴をご用意のこと。

お問合せ：原藍染りゆうたメール sunnyson7@gmail.com

⑧盛岡町家の藍染工房「原藍染りゆうた」①②

地域で生きることの本質を分かち合う、職人の所作に身をうつし

時間・空間・体と対話する五感体験（井戸掃除含む）

日時：10/28（水）・11/11（水） 両日9:00～11:00

参加無料（※藍染体験ではありません）

定員：各回3名（応募10/20×切、多数の場合抽選）

要事前申込：メール sunnyson7@gmail.com

⑨環境省選定『平成の名水百選』-「青龍水」＆「大慈寺水」③④⑤

地域の井戸端会議『井戸と地域の交流会』

日時：10/25（日） 9:00～10:00 「青龍水」井戸掃除

11:00～14:00 交流会「大慈清水」と「大慈清水御休み処」

「大慈清水御休み処」で開催するプログラム ③

★ 11/3（火） 7:30～

⑩『町家朝食堂特別営業

—大慈清水で炊いた中華粥をいただく』（限定15食）

★ 11/8（日） 10:00～12:00

⑪『かだて語り場—まちの足休め、ふらり寄り道喫茶』

呉服店店主がマスターの定例モーニングサロン特別編

★ 11/16（月） 19:00～21:00

⑫『盛岡町家でご飯会＆

町家格子スタジオで“地域ラジオ的音源”公開試験収録♪』

“楽しみながら盛岡を元気にする”をモットー活動する社会人有志の集い

「もりおかワカものプロジェクト」の協力で開催する交流会

会費：1,500円、定員20名 要事前申込：QRコードより

まちの文化と日常の魅力を育てる まちびらきプロジェクト 「盛岡まちごと博覧会 in 大慈寺町・鉾屋町界隈」とは？

日常に当たり前にあるまちの魅力は、一見気づきにくいものです。しかし、それは、歴史ある建物や豊かな自然そのものと共に、それらをおおしめ、誇りを持って使い保ち続ける地域の方々との温かな心意気や志があってこそ生み出される、実は特別なものです。そこには、どの時代にも通じる「普遍的な暮らしの知恵」と「人と人との温かな交わり」が確かに息づいています。

「盛岡まちごと博覧会」は、“暮らしでも、訪れても良いまち”の日常にある活動や文化、普遍的な魅力に改めて光をあて、新たな視点で「わたしのまち」に出会い直し、未来へつなぐための取り組みです。今回は初の試み（トライアル）として、大慈寺地区をモデルに約1か月にわたり開催いたします。多様な人々の無理のない関わりを大切にして、盛岡町家や蔵、寺院、井戸などを舞台に、特別公開や文化・交流体験など、じっくりと地域の人や暮らしの魅力と交わるプログラムを地域の皆さまと知恵を絞り、心を込めて作り上げました。一見当たり前にある日常の風景や営みも、改めて出会うことで、「特別な体験（非日常）」となるはず。企画する側、体験する側どちらにとっても、初めは小さな「非日常の出来事」かもしれません。けれど、こうした交わりが重ねられ、いつかそれがまちの「当たり前の日常」として溶け込んでいく日が訪れたなら、これほど素敵なことはありません。まちに暮らす方はもちろん、訪れる方、盛岡の暮らしに興味がある方、どなたにとっても、プロジェクトを通じてまちとの新たな出会いとつながりを育む機会となれば幸いです。盛岡の奥深い日常へと歩みを進めてみてください。

⑬新渡戸稲造家ゆかりの寺院「曹洞宗 奕葉山 久昌寺」[ⓐ]

開放美極まる伝統建築の本堂見学と、1日の終わりに心を整える“夜の禅体験”

日時：10/29（木）・11/10（火） 両日18:30～20:00

定員：各回計20名（坐禅10名・写経10名どちらかを選択）

要事前申込：QRコードより

○ご参加の皆さまは久昌寺の御朱印（書き置き（紙））をいただくことができます。

○体験料は定めておりませんので、お気持ちを本堂の浄財箱へお納めいただけますと幸いです。

⑭平民宰相原敬ゆかりの寺院「黄檗宗 福聚山 大慈寺」[ⓑ]

中国様式ならではの本堂見学と、般若心経の中国語読み「唐音」の体験

日時：10/18（日）・11/8（日） 両日13:30～[約30分]

定員：各回15名 要事前申込：QRコードより

○御朱印帳をお持ちの方は、ご参拝の証に御朱印を帳面に直接お書きいただけますので、ご用意ください。その際はお気持ちをお納めいただけますと幸いです。

※急な葬儀・法要等により、やむを得ず開催中止となる場合がございます。

その際は速やかにご連絡します。予め前提としてご了承の上、お申し込みください。

⑮寛永15年創業木津屋本店-天保5年建設「木津屋池野藤兵衛家住宅」[ⓒ]

まちを守り支えてきた老舗の佇まいと、現代に息づく知恵に触れる希少な見学会

日時：10/27（火）18:00、10/31（土）14:00・15:00、

11/14（土）11:00・14:00 [各回約20分]

定員：各回5名 要事前申込：QRコードより

⑯江戸期の南部藩の米蔵、まちの記憶を紡ぐ場所「御蔵-下町史料館」[ⓓ]

地域愛溢れる“まちの学芸員”が語る♪蔵に秘める先人の知恵を紐解く建築解説タイム

日時：10/24（土）・10/31（土） 両日13:00～[各回約20分]

申込不要、お問合せ先：019-654-2468

○10月の通常開館は毎週土日10:00～16:00

⑰江戸末期から昭和時代の旧酒蔵からなる交流施設「もりおか町家物語館」[ⓔ]

普段非公開の秘密の場所も見せます！スタッフと巡る館内まるごとツアー

日時：11/2（月）・16（月） 両日11:00～・14:00～

[ガイド20～30分 & 自由時間30分の計約60分]

定員：各回10名 要事前申込：お問合せ先 電話 019-654-2911

⑱『建築技術者交流会-大慈寺地区から技と志をつなぐ-』^{ⓕⓖⓗ}

盛岡市都市景観受賞建築の技術解説 & 街並み保全の専門家意見交換会

日時：11/7（土）13:00～16:00

解説：勝部敬次氏／（株）三衛設計舎、打野誠氏／ウチノ建設（株）、

脇田桂一郎氏／桂汎用工房

会費：1,000円（お茶付き）

見学：「もりおか町家物語館」、「駒木葬祭本社」、「盛岡町家三晃亭」（外観のみも含む）

交流会会場：大慈清水御休み処

定員15名（応募10/29メ切、多数の場合抽選）※【参加対象：建築関係技術者】 要事前申込：QRコードより

寺まちの暮らし／参拝・拝観&禅体験

先人が築いた礎に感謝しながら、
季節の移ろいと荘厳な空間の中で心と体と向き合う



地域固有の建築体験

歴史的建築に宿る
普遍的な技と知恵に触れる



[盛岡の街並み保存と景観まちづくり再入門] まちびらきプロジェクト同時期開催イベント

市民向け景観ツアー^{ⓓ他}

日時：10/24（土）・10/31（土） 両日9:30～12:00

定員：各回15名（応募多数の場合抽選） 要事前申込／参加無料

大慈寺地区景観地区を散策しながら、盛岡市の景観まちづくりの取組を学びます。「消防番屋」のやぐらに上り、まちを見る体験も予定。

※参加対象あり。

主催・お問合せ：盛岡市景観政策課

電話：019-601-5541

メール：keikan@city.morioka.iwate.jp

歴史的街並み保存活用勉強会[ⓓ]

日時：11/1（土）9:30～12:00

定員：20名 要事前申込／参加無料

景観重要建造物「川鉄」の特別見学、補助制度の解説、街並み探訪を通じて、街の捉え方を学び、未来の保存・活用の可能性を語り合う勉強会。

主催：盛岡市街並み保存活用推進協議会

申込・お問合せ：盛岡まち並み塾電話：019-656-1603

第49回 盛岡市都市景観シンポジウム

日時：11/14（土）13:00～16:00

※申し込みは不要 参加無料

これからの盛岡の景観のあり方について市民みなで考え学び深めるシンポジウム。

場所：プラザおでってホール（中ノ橋通1-1-10）

主催・お問合せ：盛岡市景観政策課

電話：019-601-5541

メール：keikan@city.morioka.iwate.jp

